

# 長等の防災

2018年9月1日発行  
第1号  
長等学区自主防災会



長等学区自主防災会  
会長 馬場照直

昨年度、長等学区の自主防災会会長になりました馬場照直です。どうかよろしくお願いします。

大津市に自主防災会が出来て10年余りになりますが、「自主防災会」とは、学区民が力を合わせて、被害を防ぐよう取り組んでいるグループをいいます。近年、全国各地に大きな地震・台風などおこっていますが、大津市では5年前の台風で、大きな災害にみまわれました。長等学区においても、小関町奥から土砂災害、また各場所での川の氾濫と、怖い思いをしました。長等学区では、土砂災害、また密集地では火災と二つの異なった災害が想定されます。いつ起きるかもしれない災害。いつでも避難できるよう準備をしましょう。自分の命は自分で守る、日ごろの準備が大切です。

住宅用火災報知器の点検をお願いします。設置義務から、10年近くがたちます。

非常用バッグを用意しましょう

- ヘルメット、防災頭巾 ・懐中電灯 ・飲料水
- 食べ物 ・救急セット、(常用の)薬
- ライター ・ティッシュ ・ビニール袋
- 預金通帳のコピー ・現金等

## 事務局から

◇防災関係行事日程

- 5/20 学区自主防災会総会
- 5/30 大津市学区自主防災組織活動補助金申請
- 6/3 中ブロック防災圏意見交換会
- 6/21 学区自主防災会長会議
- 7/1 大津市防災士フォローアップ研修
- 7/8 学区防災研修会
- 8月 大津市防災士養成事業受講者推薦
- 9月広報紙配布
- DVD(大津版ファーストコンタクト)自治会配布
- 11/11 学区自主防災訓練
- 1月 広報紙配布

## 平成30年度総会報告



去る5月20日午前10時から長等市民センターにおいて、今年度の総会が開催されました。

当日は、約50名の自主防災会長・自治会長等が出席、各種団体・機関から多くの来賓にも出席いただき、議長に真西町の藤居さんを選出した後、事業計画・役員改選等の議案を審議、承認しました。

今年度は、従来の研修会や防災訓練に加え、広報紙の発行や各自治会へのDVDの配布、学区防災のしくみの検討なども行うことが決まりました。

### 平成30年度役員紹介

- |         |   |
|---------|---|
| 会 長     | 馬場照直  |
| 副 会 長   | 山本一男(総括)、中嶋左近(情報・避難誘導担当)、山田富男(消火・救出救護担当) 浅田嘉克(同)、徳永恵美子(給食給水担当)                                      |
| 監 事     | 吉川浩次、中岡 進   |
| 部 長     | 前田紘一(情報・避難誘導部) 田淵政春(同) 石倉善八郎(同)   |
| 副 部 長   | 服部 仁(消火・救出救護部) 服部克行(同) 山田久美子(給食給水部)   |
| 部 長     | 中村虚空(情報・避難誘導部) 北井征暁(同) 松原真路(同) 草野聖地(同) 澤井功樹(同)、斉藤保幸(消火・救出救護部) 林 竜平(同) 草野天汰(同)、松田佐知子(給食給水部) 森脇加代子(同) |
| 事 務 局 長 | 樋本伸夫  |
| 事務局次長   | 川村育久 竹内義博   |
| 会 計     | 長瀬國男  |
| 相 談 役   | 山本 清  |
| 顧 問     | 籠谷隆士、金井長光   |

大津市防災ナビ



<http://www.city.otsu.lg.jp/kurashi/bosai/1488939213043.html>

7月8日、長等学区自主防災会では研修会を開催し、地域の自主防災会役員など約70名の方にご参加いただきました。以下は講師の当会事務局次長、竹内氏による研修会内容のまとめです。



## 『災害×IT』IT活用から身近な防災を考える

今回の研修会では、過去の事例や最新のIT動向を共有し、災害に対する備えや準備、災害発生時の情報の伝達・共有・活用や安否確認など情報収集、通信手段としての視点から、ITをどのように活用することができるか、その可能性について考えました。

### 災害発生時における情報収集手段の変遷

1995年の兵庫県南部地震による阪神淡路大震災では、固定電話・携帯電話はつながりにくく、インターネットのサービスは始まったばかりで利用者が少なかったため、通信手段はつながりやすかった公衆電話で、情報収集源は主にテレビ、ラジオでした。

2016年の熊本地震においても、固定電話・携帯電話はつながりにくかったですが、インターネットはつながりやすく、またスマートフォンの普及により、即時性の高いTwitter（ツイッター）やLine（ライン）などのコミュニケーションツール（SNSアプリ）が情報収集、安否確認の有効な手段として使われました。しかし、デマや誤情報が拡散し問題となりました。

### 災害発生時にITは有効か？

上述のSNSアプリのみならず、「大津市防災ナビ」（表面にQRコードを掲載しています）など普段の防災情報から災害情報、避難情報、安否確認など幅広い機能を備えた総合アプリも有効なので積極的に活用したいです。しかしITは万能ではなく次のような問題点も指摘されています。

- 停電や電池切れなどによる電源消失
- 回線状況の混雑、通信設備等が被災
- スマホなど個人端末の故障や紛失
- ネット環境のない人との連絡
- デマ、誤情報の拡散

### ITを活用するための対策

- モバイルバッテリーや、手回し発電機付の充電器を備える
- インターネット以外の複数の連絡手段を確保しておく
- インターネットの特性を理解しておく
- 日頃から使用方法などの練習をしておく

### インターネット以外の連絡手段

- 171 災害用伝言ダイヤルを活用する（右枠内を参照ください）
- 家族や知人の電話番号を紙にメモして全員が常々携帯しておく
- 避難場所、集合場所や時間を普段から話し合っておく

### まとめ

災害に対してITの活用は有効ではありますが、過信せず、またITが苦手な方や環境のない方を決して置き去りにすることがないように日頃から家族や地域で話し合い、使い方などを練習しておくことが大切です

#### 171 災害用伝言ダイヤル

被災地への電話がつながりにくくなった場合、固定電話、携帯電話などから、伝言メッセージを録音し、再生して安否などを確認する事が出来ます。平常時は毎月1日と15日、正月三が日などに体験利用が可能ですので、ご家族、自治会などでの練習をお勧めします。「171」をダイヤルし、利用ガイドンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。



<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>